



学校だより 10月

令和5年9月29日

横浜市立芹が谷南小学校

学校Webページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/serigayaminami/>



**6年1組が育てた
カボチャが大きく
実りました！**

バトンをつないで

校長 大島 恵子

今年は(今年もでしょうか)夏休みが終わり、9月に入っても暑い日が続きました。いったいつまで夏が続くのだろう?と秋の訪れを心待ちにしていたのですが、ようやく秋らしさを少しずつ感じられるようになってきました。暑さ対策で校舎内に避難していた2羽のウサギも近々ラビットハウスに帰ります。6年生が総合の学習で育てている巨大カボチャも大きく実りました。いよいよ秋本番、明後日から10月です。

さて、今回は異学年交流の中で見られたすてきなエピソードをご紹介します。本校では縦割りでなかよし班を作り、遊んだり集会を行ったりするなかよし活動を学校の特色の一つとして取り組んでいます。また6年生と1年生、5年生と3年生、4年生と2年生がなかよし学年、なかよし学級として交流しています。

先日4年1組と2年1組がなかよし学級として、より仲良くなれるよう「元気マシマシ集会」を開きました。4年生は昨年度まで上学年の先輩にリードしてもらおう立場でしたが、今年度は上学年となり2年生を引っ張る立場になるわけですから責任重大です。2年生に楽しんでもらえる集会になるよう学級会で集会の内容を話し合いました。話し合いの後、子どもから次のような言葉があったそうです。「自分は代表委員会(4、5、6年生の代表児童が学校生活に関する様々な取組を話し合う会です)に参加しているので、6年生の話し合いの進め方を真似して学級会を進めました。そのおかげで今日の学級会を上手に進めることができました。うれしかったです。」学級会で司会を務めた4年生の児童は、代表委員会で6年生がみんなの意見をまとめながら上手に話し合いを進めていく様子を見て、そのやり方をしっかり学んでいたのでしょう。そして6年生の司会進行する姿をイメージしながら司会を務めたのでしょう。直接司会の仕方を教わったわけではないけれど、6年生の姿から学び、それを生かすことができた4年生と、お手本になる姿を下級生に示した6年生。異学年で活動する良さや意義が感じられたエピソードです。事前の話し合いや準備がしっかり整っていたので「元気マシマシ集会」は大成功。それぞれの係ごとに楽しんでもらえるように考えた出し物や遊びは盛り上がり、2年生も大喜びだったそうです。

この話はさらに続きます。10月は、1、2年生合同の遠足、芹南ピックと行事が続きます。4年生に優しく関わってもらった2年生は、今度は1年生の先輩として活躍する番となります。遠足では1年生とグループで水族館を回ります。芹南ピックでは一緒に演技や競技に参加します。きっと1年生を思いやるすてきな姿をたくさん見せてくれることでしょう。2年生に限らず、どの学年の子どもたちも芹南ピックに向けての活動の中で、なかよし活動の中で、委員会やクラブ活動の中で、日常の様々なふれあいの中で、上学年の子が下学年の子に教えたり、下学年の子が上学年の姿に学んだりする場面を大切に、学びのバトン、優しさのバトンをたくさん受け渡してできる芹が谷南小学校でありたいと思います。